

日本とカンボジアの架け橋がある街・コンポンチャム

コンポンチャムはプノンペンから北東に約120km。バスでちょうど3時間のところに位置しています。穏やかな人が多く、のんびりとした雰囲気のある街です。チャム族が多く住んでいること、昔はメコン川の港で船を待つ人が多かったこと(クメール語で「港」はコンボン、「待つ」はチャム)から、コンボンチャムと呼ばれるようになったそうです。

コンボンチャムには男性から女性にプロポーズをする風習に変えた伝説の残る「プノンプロ・プノンスライ」、乾季になると出現するバンブーブリッジ(手作りの竹橋)、500リエル札に描かれている「きずな橋」など、こぢんまりとした見所がたくさんあります。メコン川を目の前に黄昏てみるのも一興です。移動の時に立ち寄るだけという人が多いですが、是非機会があればこの町でゆっくりとした時間を過ごしてみてください。

さて、そんなコンボンチャムで私は看護師隊員と



JICA Plaza Cambodia

6th floor, Building #61-64, Preah Norodom Blvd., Phnom Penh
tel : 023-211-673

<https://www.jica.go.jp/cambodia/office/about/ngodesk/about.html>

※ご相談がある場合は予約が必要です。



バンブーブリッジから見た「きずな橋」

して病院の療養環境の改善、感染予防を中心に活動しています。言葉の壁や「キレイ」の価値観の違いなど、大変なこともあります。現地スタッフの優しさに支えられながら楽しく活動しています。きずな橋のような日本とカンボジアの架け橋になれるよう頑張りたいと思います。

小林 明日香 Kobayashi Asuka

大阪府出身。看護師として総合病院で5年間勤務後、青年海外協力隊員として、コンボンチャム州立病院に配属される。現在、療養環境の改善をメインに行う5S-KAIZEN活動、手洗い指導などを含む感染予防研修の実施など、現地スタッフへの現場指導を中心に行っている。趣味は旅行や舞台鑑賞(特に宝塚歌劇団)。